

## 市民参加の実施内容

### 1 市民参加の基本的考え方

ちがさき都市マスタープラン改定にあたっては、「住みたい 住み続けたいまち」を基本的な考え方とし、生活者目線で「茅ヶ崎の価値・魅力（茅ヶ崎らしさ）」を捉え直し、共有します。そこで、生活者目線で見えた茅ヶ崎の価値や魅力、すなわち「茅ヶ崎らしさ」の要素を抽出するためにいくつかの市民参加を行います。

#### 将来都市像の実現に向けた基本的な考え方

**「住みたい 住み続けたいまち」**を改定の基本的考え方として

○生活者目線で **「茅ヶ崎の価値・魅力（茅ヶ崎らしさ）」** を捉え直し、共有する

○みんなで 「茅ヶ崎の価値・魅力（茅ヶ崎らしさ）」 を 「育む」

#### (1) 茅ヶ崎の価値・魅力（茅ヶ崎らしさ）の捉え直し

「住みたい 住み続けたい」を「住みたい」と「住み続けたい」に分けて考えて市民参加を実施します。「住み続けたい」では、基礎調査より茅ヶ崎の価値・魅力（大まかなイメージ）を把握し、市民討議会で市民目線での暮らし、暮らし方より茅ヶ崎の価値・魅力を感じるための要素を把握します。「住みたい」では、近年茅ヶ崎市に転入した方を対象にアンケートを行い、居住地選択の要素を把握します。さらに、グループインタビューを行い、抱いていたイメージと実際に住んで感じたギャップや、住んで良いと感じた事等をインタビューし、「住み続けたい」に繋がる要素や価値・魅力を高める要素や方向性を把握します。

これらで把握した意見や価値・魅力の要素は、都市マスタープランの基本理念や分野別の取り組み方針、各個別計画の理念や目標等に反映し、活用をします。

#### <茅ヶ崎の価値・魅力（茅ヶ崎らしさ）の明確化の方法（イメージ）>

“**「住みたい 住み続けたい」**” = “生活者目線でみた茅ヶ崎の価値・魅力” = “茅ヶ崎らしさ”

<b>住み続けたい</b>	:	○基礎調査（資料3）…………茅ヶ崎の大まかな価値・魅力の把握 ○市民討議会（3計画共通）…暮らし、暮らし方より価値・魅力を感じる要素の把握
	+	
<b>住みたい</b>	:	○WEBアンケート…………居住地選択の要素を把握 ○グループインタビュー…転入前後のギャップを通じ住み続けたいまちに必要な要素、価値・魅力を高める要素や方向性を把握

都市マスタープランの基本理念や分野別の取り組み方針、  
各個別計画の理念や目標等に反映、活用

## 2 市民参加の内容

### (1) 市民討議会

#### 【趣旨】

基礎調査の結果を踏まえながら、日々の生活目線で茅ヶ崎の魅力(茅ヶ崎らしさ)をあらためて確認し、茅ヶ崎の魅力(茅ヶ崎らしさ)を感じるための要素と「公共空間」、「自然・みどり」、「移動」について議論を行い、茅ヶ崎の魅力(茅ヶ崎らしさ)の要素を把握します。

①実施日 平成29年7月30日(日) 全日

②参加者 市内在住者 50名程度(無作為抽出)

※市民討議会の議論内容を各計画で共有し、審議会等での議論に反映するため、各審議会の委員も討議会を見学。

③内容

#### ◆テーマ：「自分らしく生きるまち・茅ヶ崎の魅力

一日々の暮らしから 好きな場所、身近な自然、まちなかでの移動 を語り合うー」

#### ◆内 容：

##### 1 魅力の確認(好きな場所)について

基礎調査の結果を基に、茅ヶ崎の価値・魅力(茅ヶ崎らしさ)を議論しつつ、市内の自分の好きな場所をあげ、どう過ごしているか、どう過ごしたいかを議論

##### 2 身近な自然、みどりについて

住んでいる周りの自然やみどりに焦点をあて、生活にどう関わりがあるのか自然やみどりを楽しむために、どうあってほしいかを議論

##### 3 まちなかでの移動について

好きな場所に行くまでの移動も楽しむために、そのルートがどのような環境だったらより楽しむことができるかを議論

### (2) WEBアンケート(※補完する市民参加)

#### 【趣旨】

#### ～転入者の居住地選択の要素を把握～

近年の茅ヶ崎市への転入者を対象に、転入を決めた理由、茅ヶ崎以外に考えた居住地、住んでみての住みやすさ評価などをWebアンケート形式で把握します。

①実施時期 7～8月頃実施を予定

②対象者 5年以内に茅ヶ崎市に転入した方 2,000名(30代以上・無作為抽出)

③内容

○アンケート項目(案)

- ・属性：性別、年齢、家族構成、子どもの就学状況、居住地域、転入前後の住居形態、市内での居住年数
- ・茅ヶ崎市に転入を決めた理由

- ・ 転入前の居住地
- ・ 転入のきっかけ
- ・ 茅ヶ崎以外に考えた居住地
- ・ 住みやすさの評価
- ・ 住みやすい点、住みにくい点
- ・ 定住意向

### (3) グループインタビュー（※補完する市民参加）

#### 【趣旨】

～外部目線での住み続けたいまちに必要な要素、長く住んでいる市民とのギャップを把握～

市民討議会参加者中には少ないと想定される、近年茅ヶ崎市に転入してきたファミリー世代、高齢世代を対象に、抱いていたイメージと実際に住んで感じたギャップ、住んで良いと感じたことなどを、グループインタビュー形式で把握します。

①実施時期 8月頃実施を予定

②対象者

- ・ 5年以内に茅ヶ崎市に転入した子どものいる 30～40代 女性
- ・ 5年以内に茅ヶ崎市に転入した子どものいる 30～40代 男性
- ・ 5年以内に茅ヶ崎市に転入した 50代以上 女性
- ・ 5年以内に茅ヶ崎市に転入した 50代以上 男性

\* 上記の各属性別のグループとし、各1グループ・5～7名で実施

\* 茅ヶ崎市出身で、家族連れ（夫婦のみ、子どものいる方を含む）で戻ってきた方が抽出できるようであれば、上記のグループに優先的に抽出

③内容

○主なインタビュー項目（案）

- ・ 居住地域、市内での居住年数、世帯構成
- ・ 以前住んでいたところ、転出理由
- ・ 転入を決めた理由
- ・ 他に考えた転居先
- ・ 抱いていたイメージと実際に住んでのギャップ
- ・ 住んでみて良いと感じたこと
- ・ 定住意向、理由